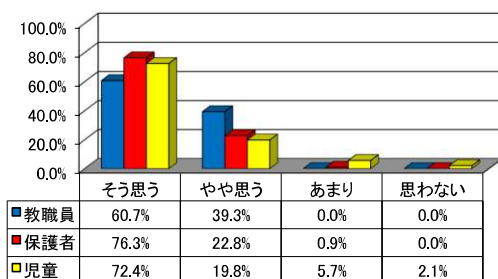


教職員・保護者・児童三者グラフ(2学期実施)

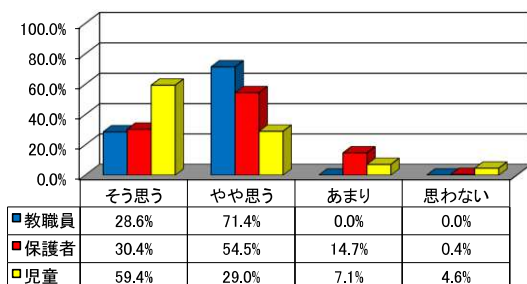
■ 教職員
■ 保護者
■ 児童

1 楽しく学校生活を送っていると思いますか



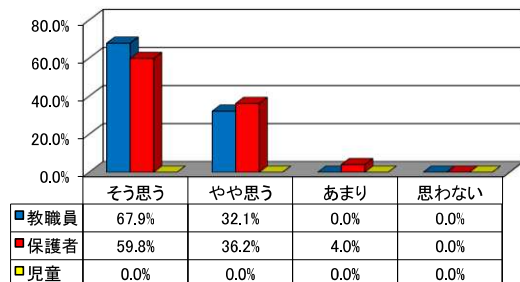
「そう思う」の割合が保護者・児童共に高く、コロナ禍ではありますが、児童は教職員が感じているよりも楽しく学校生活を送っていることが分かります。保護者の「そう思う」も76.3パーセントと高く、「そう思う」「やや思う」をあわせると三者とも90パーセント以上となっています。その一方で、児童には、「あまり」や「思わない」と答えている児童がたえ少数であってもいることをしっかり受け止め、原因をこの後の設問から分析し、改善に向けて取り組んでいきます。

2 目標を持って学校生活を送っていると思いますか



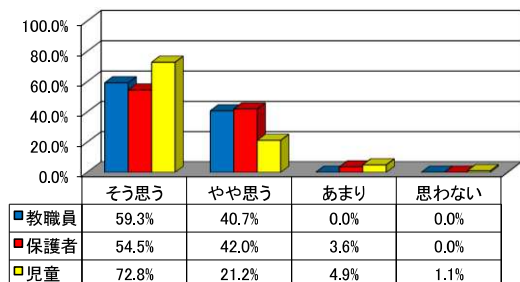
児童は、「そう思う」「やや思う」を合わせると、90パーセント近く目標を持って学校生活を送っていると回答しています。また、教職員も保護者も、「そう思う」「やや思う」の割合が85パーセントと高いです。目標をもって学校生活を送る児童の姿が、保護者の目からも現れ始めていることがわかります。ただ、教職員の「そう思う」は30パーセント弱と低めです。教師の期待する目標に近づけられるよう指導の工夫をしていく必要があると考えます。

3 家庭に適切な連絡や情報提供を行っていると思いますか



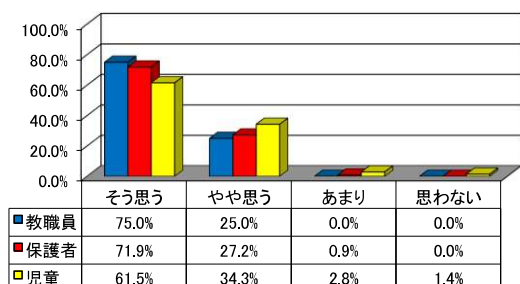
保護者の「あまり」の割合が4パーセント、「思わない」は0パーセントでした。学校として、「あまり」と「思わない」の割合を0にしていこうための努力を今後も続けていきます。さらに、学校が積極的に家庭と連絡を取り合い、家庭が必要としている連絡や情報が何かを知るためにも、家庭との連携をさらに深めていきます。

4 児童の安全が確保されるように教育環境が整えられていると思いますか



教職員は定期的な安全点検を各担当が行い、改善箇所については学校で修繕、業者への連絡・修繕、市教育委員会への連絡・要望などの対応をしているため「あまり」「思わない」の結果が0です。予算面などの関係で、教育環境が充分整えられていない部分が残ってしまっていますが、今後とも改善を進めていきます。児童の安全確保のために、ご家庭にご協力をいただいています。ありがとうございます。

5 先生方はわかる授業に努めていると思いますか

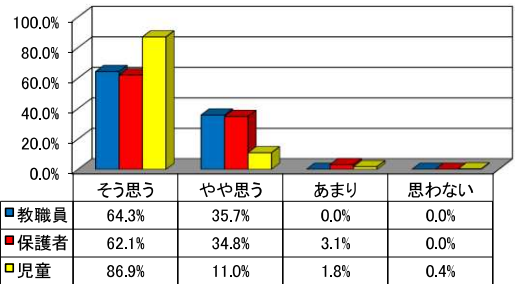


教職員・保護者・児童の三者とも、「そう思う」「やや思う」割合は、95%より高くなっています。しかし、「あまり」の割合が、児童に2.8パーセント、「思わない」の割合が1.4パーセントいることは大変危惧するところです。児童自身が「わかった」と実感できる授業づくりに全力を尽くします。

教職員・保護者・児童三者グラフ(2学期実施)

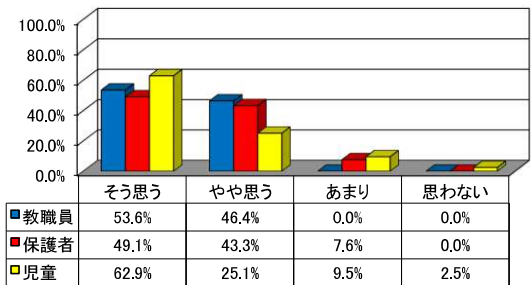
■ 教職員
■ 保護者
■ 児童

6 先生方は児童一人一人が理解しているかどうか気を配っていると思いますか



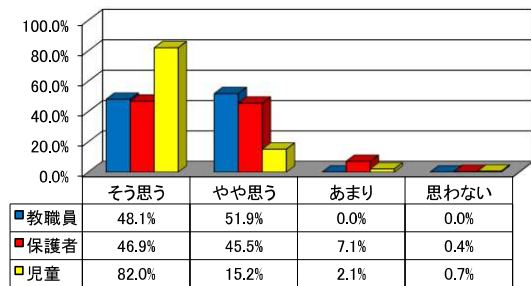
保護者の「そう思う」「やや思う」を合わせた割合は95パーセントを越えています。また、児童の「そう思う」割合が約87パーセントと最も高いことは、学校として教師との信頼関係が築かれていることにも通じ、大変うれしいことです。しかし、保護者や児童の回答の中には、「あまり」と答えている方もいます。このことを重く受け止め、より一層、児童の理解に努めて参ります。

7 児童が意欲的に授業に取り組んでいると思いますか



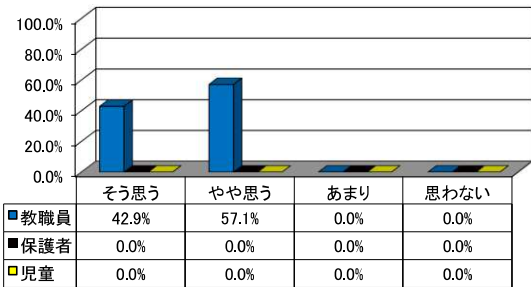
教職員、保護者ともに「そう思う」「やや思う」を合わせた割合が、90パーセント以上と高くなっています。児童の学習の様子が少しずつ家庭に伝わりつつあるのだと思います。しかし、児童の否定的な回答が12パーセントと高いので、今後も児童が意欲的に取り組む授業づくりを進め、児童の学習の様子を家庭へ伝える努力を進めていきます。

8 地域の人材や環境が教育活動に生かしていると思いますか



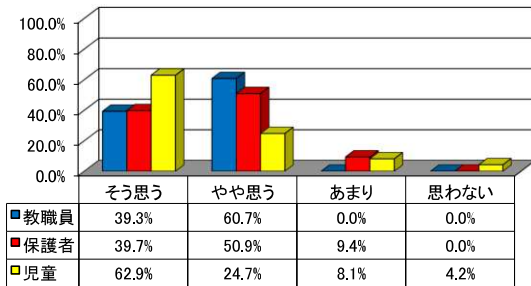
「そう思う」児童の割合が82パーセントと高いです。生活科、総合的な学習の時間、書写指導などでは、地域の方々を講師としてお願いしています。児童にとっては、親しみのある方々からの学びが印象深く、豊かな学びとなり、学習効果が大きかったことを表しています。教職員、保護者には、もっと地域の人材や環境を生かすことができるのではないかと共通した思いがあります。地域の人材や環境をさらに生かす取り組みを進めていきます。

9 授業評価の結果を授業改善に生かしていると思いますか



教職員のみの回答です。本年度は、校内研究において「生き生きと学び合う子どもの育成～問いをもって自分から学ぶ授業づくりと子どもの理解を基にした授業改善」を研究主題として進めてきました。研究授業を通して、子どもの姿から授業を見取り、日々の授業にフィードバックする取り組みを進めているところです。

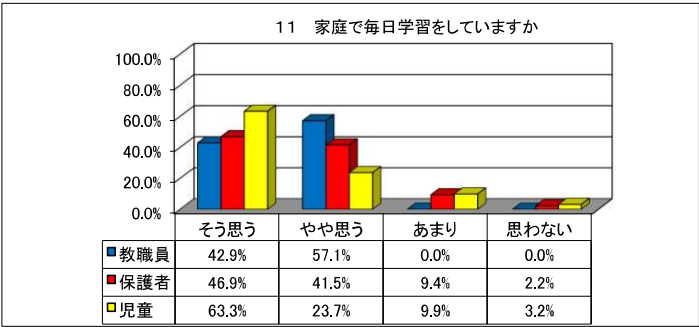
10 児童の学力は向上していると思いますか



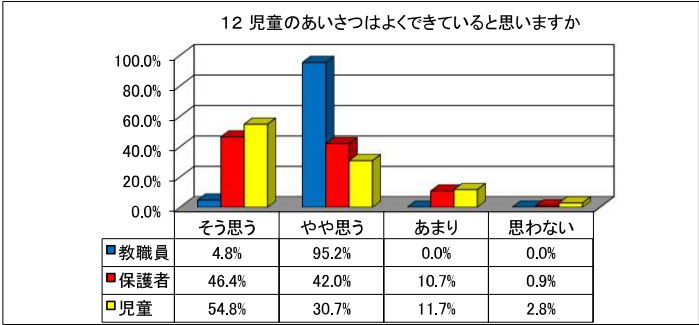
「そう思う」「やや思う」の割合が、教職員は100パーセントになり、児童の学力の向上を実感していますが、保護者では90パーセント以上ですが、保護者と児童の二者では、否定的な回答が10パーセントほどあります。このことを重く受け止め、すべての児童が「そう思う」と言えるよう授業改善を進めていきます。

教職員・保護者・児童三者グラフ(2学期実施)

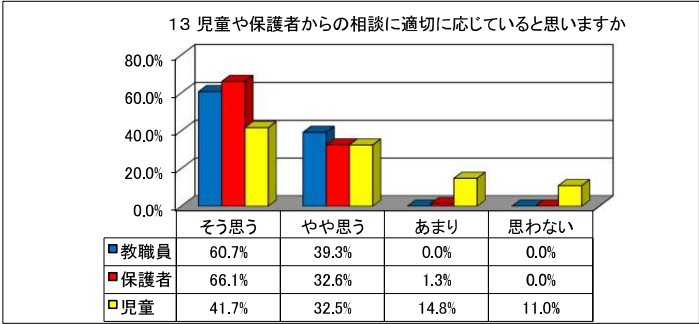
■ 教職員
■ 保護者
■ 児童



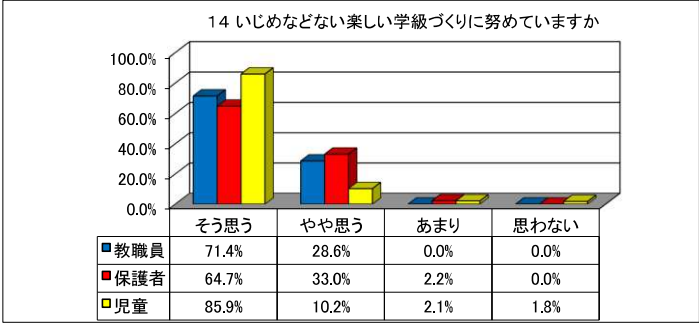
全校での家庭学習への計画的な取り組みの推進の結果、保護者や児童の「そう思う」の割合が高くなっています。ただ、保護者の否定的な回答が11パーセント強、児童が13パーセント強あることから、今後もご家庭の協力をいただきながら家庭学習の定着を行っていきます。ご協力をお願いいたします。



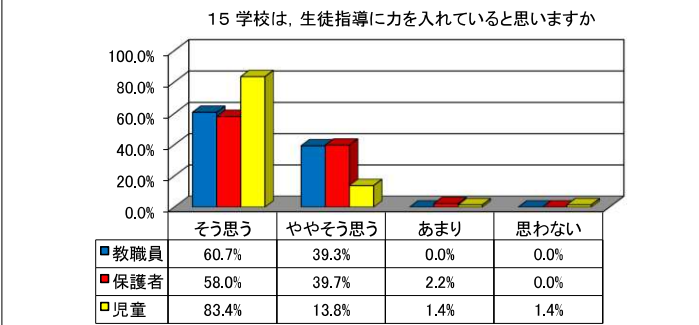
教職員・保護者・児童の三者の中で一番厳しい評価をしてきている教職員ですが、「そう思う」は三者の中で最も少ないものの、「そう思う」と「やや思う」をあわせると、100パーセントになります。今後も引き続き、学校運営協議会でも確認されたあいさつへの取り組みを地域を巻き込んで行っていきたいと思っています。



教職員は「そう思う」割合が、60パーセント強、保護者は66パーセントです。「やや思う」を合わせると教職員は100パーセント、保護者も98パーセント強と高く、教職員は、自信をもって相談にのっていると思っています。保護者と教職員の結果は相関があるのですが、児童は、教職員に対して、「もっと自分の相談にしっかりのってほしい。」と感じています。児童にとって相談しやすい環境づくりを進めていきま



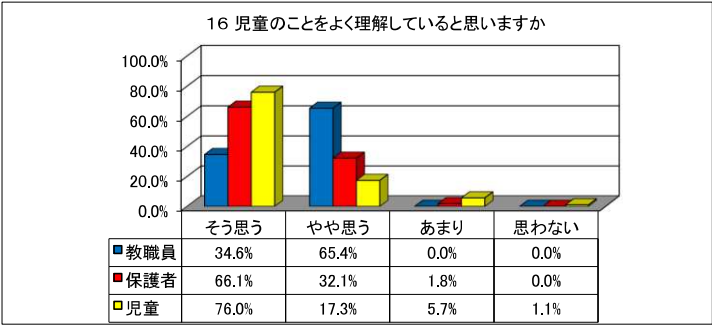
教職員・保護者・児童の三者とも「そう思う」割合が高いです。特に児童は85パーセントを越え楽しく学校生活を送っている様子が分かります。しかし、児童の「あまり」と「思わない」を合わせた割合が4パーセント弱あることをしっかりと受け止め、いじめの未然防止、早期発見・早期対応につとめ楽しい学級づくりを重点項目として今後も取り組みを続けていきま



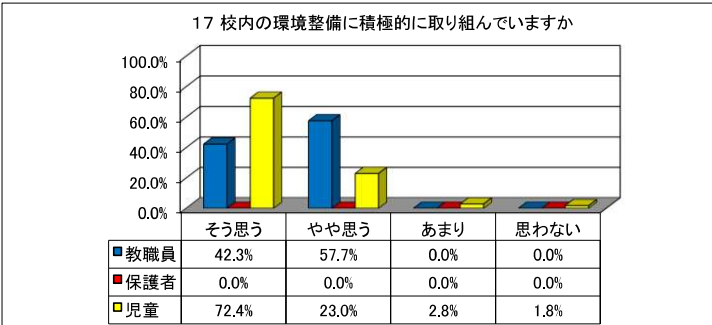
教職員・保護者・児童の三者とも「そう思う」「やや思う」の割合が高いです。保護者の「そう思う」の割合だけでも60パーセント近くあり本校の生徒指導に対する理解を頂いていて大変うれしく思います。さらに高くなるように、生徒指導にさらに力を入れるとともに、学校から家庭への情報伝達について今後とも進めていきます。

教職員・保護者・児童三者グラフ(2学期実施)

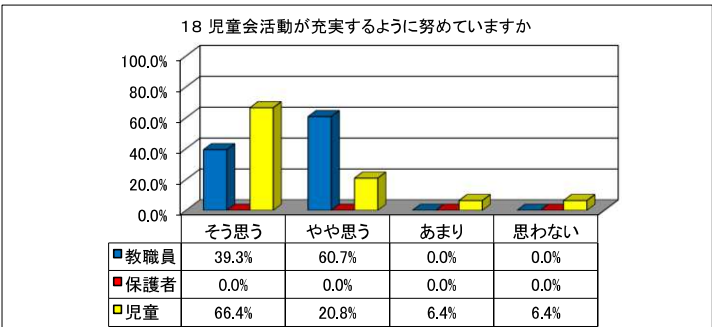
■ 教職員
■ 保護者
■ 児童



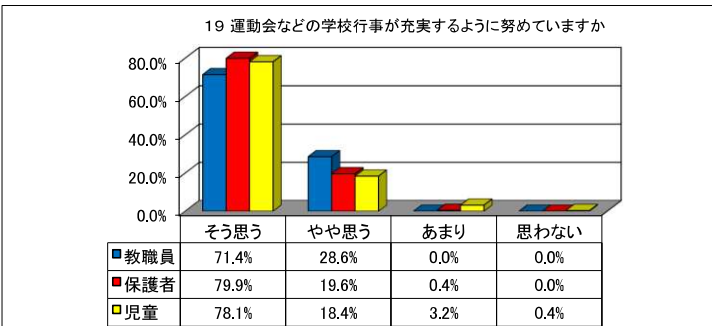
教職員・保護者・児童の三者とも「そう思う」「やや思う」の割合が高いです。しかし、「あまり」と「思わない」と感じている児童がいます。そのことをしっかりと受け止め、児童と向き合う時間を確保しながら、児童理解を推進していきます。



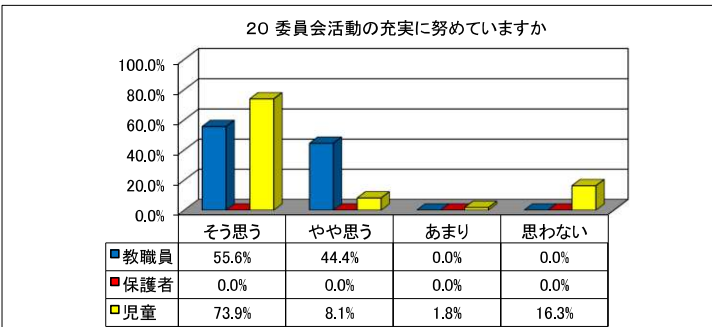
児童にとっては、清掃や整理整頓ということですが、「そう思う」児童の割合が高くなっています。「あまり」や「思わない」と答えた児童もありますが、ほとんどの児童が取り組んでいるとしています。「積極的に」という言葉から取り組んではいるが積極的でないという児童もいたと思います。今後も校内の環境整備に力を入れていきます。



児童会活動に積極的に参加している児童が多いことがわかります。児童が自らの学校生活をより良いものにするような自治的な力がさらについていくように児童会活動の充実に関教職員がさらに取り組んでいきます。



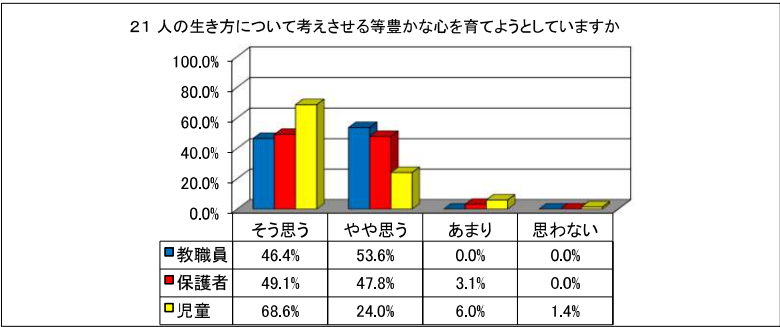
学校行事の充実には、ご家庭のご協力をたくさんいただきありがとうございます。教職員・保護者・児童の三者とも「そう思う」「やや思う」割合を合わせると95パーセント以上となっています。今後もご家庭のご協力をいただきながら、一つ一つの学校行事の充実に努めていきます。



5年生と6年生の児童が参加している委員会活動です。1年生から4年生は、この委員会活動に協力したり、委員会活動によって学校生活を助けてもらったりしています。高学年の児童が仕事を分担して全校児童がより良い学校生活を送れるよう頑張ってくれています。活動している児童自身が充実しているとさらに感じられるような活動にしていきます。

教職員・保護者・児童三者グラフ(2学期実施)

■ 教職員
■ 保護者
■ 児童



教職員・保護者・児童の三者とも、「そう思う」「やや思う」の割合が高く、「あまり」と「思わない」を合わせた割合は低いです。豊かな心の育成は道德教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動を通して行われます。今後も続けて、それらの活動の充実を図るほか、各教科等における言語活動の充実を図ることや、教育課程外の学校教育活動などと相互に関連させ、学校教育活動全体として効果的に取り組んで